

化を進めるほか、泥炭を使った洗顔料やスモーキーピートを道内外の企業とコラボして商品化に取り組んでいます。

これらの商品は、まだ商品化されたばかりです。幌延の名物となるよう私も宣伝していきます。



植村 颯太 君

質問 若い年齢の人や専門的な資格を持っていない人が、気軽に働ける職業を増やせば、町の人が働く場所に困らず、住み続けていくのではないかと考えますが、町ではそのような対策はとれませんか。

答 弁 幌延町は人口が少なく過疎地なので、まちを豊かにするために、より多くの技術や知識を一人ひとりが身につけなければいけない状況にあります。

気軽に働ける職業を増やすことは難しいですが、幌延に生活する人たちが様々な分野でプロフェッショナルになれるよう、経験のない人でも受け入れ、成長してもらおうための環境を整えることが人口の少ない地域には必要です。



上村 結さん

質問 今ある「ふるさと森キャン普場」は中学校や道路の近くにあるため、自然を最大限活かしているとは言い難いと思います。三日月湖隣接の土地か、総合スポーツ公園周辺の土地に新しいキャン普場を作つてはどうですか。

答 弁 確かに郊外の方がより一層自然に親しむ機会が多くなると思いますが、一方で、入浴や買い出しが遠くなるなど、不便な要素

もあります。

利用者は、幌延町を拠点とした自然探索や釣りのほか、豊富温泉などへの湯治や観光を楽しむファミリー層も多く、市街地にあることでメリットを感じる方々もたくさんいます。



大村 星陽 君

質問 障がい者の方や、高齢者の方の中でも、eスポーツに親しんでいる人々が増えてきています。高齢者による町の活性化をするために人気のeスポーツを取り入れた高齢者福祉施設を建設してはどうでしょうか。

答 弁 新たにeスポーツ施設の建設は、現状では厳しいですが、認知症予防なども期待できますので、高齢者を対象に実施している介護予防や疾病予防の各事

業、教育委員会が実施する生きがい教室等に取り入れていくことは可能かもしれませんが。



岡田 大輔 君

質問 幌延町にはトナカイ観光牧場やビジターセンターなど観光スポットがたくさんあります。しかし、情報が流通しておらず、知名度が低く感じられます。幌延町の知名度を上げるためにPR動画を作れないでしょうか。

答 弁 幌延町でも、まちの魅力を広めることを目的にYouTubeチャンネル「ほろのべテレビ」を開設しています。

登録者数や掲載情報も少ないですが、地域おこし協力隊員を中心に北大研究林の奥地に自生する町の花「テシオコザクラ」が咲く

様子や、駅イベントの様子、昨年と今年に実施したサプライズ花火などの映像を制作しています。



岡本 悠花さん

質問 山村広場の遊具が新しくなりましたが、遊ぶ子どもが減り、前の遊具よりも面白くないと思います。

新しい遊具を選ぶにあたり、何故小学校低学年だけにアンケートをとったのか、理由が知りたいです。

答 弁 全国の公園に設置されている遊具の事故が多く発生したことを受け、国から遊具の安全性が求められたため、以前の遊具と比較すると面白みという意味では少なくなったと感じられると思います。

以前から、町民から山村広場にも小さな子どもが遊